

コンピテンシーごとの科目到達レベル（表1）

達成レベル (パフォーマンスレベル)	A-非常に優れている (行動力を備える)	B-良い (理解力を備えている)	C-限定的に良い (知識力を備えている)	D-経験する機会があるが単位 認定に関係しない	— 該当しない
コンピテンシー					
PR プロフェッショナリズム					
本学学生は、人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりにながら、医師としての道を究めていく。	診療の場で医師としての態度・価値観を示せること	基盤となる態度・価値観を示せること	基盤となる知識を示せること	経験する機会があるが単位認定に関係しない	該当しない
GE 総合的に患者・生活者をみる姿勢					
本学学生は、患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する（良質な福祉に貢献する）。	診療の場で医師としての態度・価値観を示せること	基盤となる態度・価値観を示せること	基盤となる知識を示せること	経験する機会があるが単位認定に関係しない	該当しない
LL 生涯にわたって共に学ぶ姿勢					
本学学生は、安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続け、積極的に教育に携わっていく。	診療の場で医師として自立的に学び続け、積極的に教育に携わることができること	基盤となる態度・スキルを示せること	基盤となる知識を示せること	経験する機会があるが単位認定に関係しない	該当しない
RE 科学的探究					
本学学生は、医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関わり貢献する。	診療の場で実践できること	基盤となる態度・スキルを示せること	基盤となる知識を示せること	経験する機会があるが単位認定に関係しない	該当しない
PS 専門知識に基づいた問題解決能力					
本学学生は、医学および関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	実践の場で問題解決に応用できること	基礎となる知識の関連性を示せること	基盤となる知識を示せること	経験する機会があるが単位認定に関係しない	該当しない
IT 情報・科学技術を活かす能力					
本学学生は、発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	診療の場で問題解決に応用できること	基盤となる知識・スキルを示せること	基盤となる知識を示せること	経験する機会があるが単位認定に関係しない	該当しない
CS 患者ケアのための診療技能					
本学学生は、患者の苦痛や不安感に配慮し、確実に信頼される診療技能を磨き、患者中心の診療を実践する。	診療の一部として実践できること	基盤となる態度・スキルを示せること	基盤となる知識を示せること	経験する機会があるが単位認定に関係しない	該当しない
CM コミュニケーション能力					
本学学生は、患者及び患者に関わる人々と、相手の状況を考慮した上で良好な関係を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	診療の場で医師としての態度・価値観を示せること	基盤となる態度・価値観を示せること	基盤となる知識を示せること	経験する機会があるが単位認定に関係しない	該当しない
IP 多職種連携能力					
本学学生は、保健、医療、福祉、介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	診療の場で医師として関わる人々と協働し、患者・家族・地域の課題を共有できること	基盤となる態度・価値観を示せること	基盤となる知識を示せること	経験する機会があるが単位認定に関係しない	該当しない
SO 社会における医療の役割の理解					
本学学生は、医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野等も持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	診療の場で医師としての態度・価値観を示せること	基盤となる態度・価値観を示せること	基盤となる知識を示せること	経験する機会があるが単位認定に関係しない	該当しない

